

補助金		平成 25年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事務事業名	花と緑の銀行・緑化推進事業				担当課	農林水産課				
	予算事業名	花と緑の銀行・緑化推進事業				係名	業務林政係				
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1036				
	事業期間	開始年度	昭和48年度		終了年度	当面継続					
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				予会計	一般会計			
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				款	農林水産業費			
		施策名	15 良好な都市の形成				項	林業費			
	基本事業名	15-3 美しい都市景観づくりの推進				目	林業総務費				
						市民協働の状況	協働している				
2 事業概要	事業概要	本市の緑化を推進するための活動を奨励し助成していく事業であり、花と緑の銀行、緑化推進委員会の関係団体がある。									
	対象	市民及び公共施設									
	手段 (活動指標)	①公共施設や各地区花壇用の花苗・緑化木の配布や各地区の頭取・グリーンキーパーのボランティア活動への助成 ②市民への緑化木の無償配布 ③花とみどりの少年団活動への助成									
	意図 (成果指標)	市民の緑化意識の向上と主体的な緑化活動の推進									
3 指標	指標名		単位	24年度		25年度			26年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画		
	活動指標	① 緑化活動を行っている団体数	団体	15	15	15	15	100.0%	16		
	成果指標	②									
		③									
		① 植栽活動参加者数	人	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%	3,000		
		②									
③											
4 コスト情報	区 分		単位	24年度		25年度			26年度		
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額		
	支出内訳	①需用費	円								
		②委託料	円								
		③工事請負費	円								
		④負担金補助及び交付金	円	3,566,000	3,565,010	3,691,000	3,690,810	3.5%	4,073,000		
		⑤その他	円								
	支出合計 (A)		円	3,566,000	3,565,010	3,691,000	3,690,810	3.5%	4,073,000		
	財源内訳	①国庫支出金	円								
		②県支出金	円								
		③地方債	円								
		④その他 (使用料、雑入等)	円	1,290,000	1,290,000	1,181,000	1,281,000	-0.7%	1,623,000		
		⑤一般財源	円	2,276,000	2,275,010	2,510,000	2,409,810	5.9%	2,450,000		
	収入合計		円	3,566,000	3,565,010	3,691,000	3,690,810	3.5%	4,073,000		
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2		
		②年間所要時間	時間	520	520	520	540	3.8%	540		
		③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2,184,000	2,184,000	2,184,000	2,268,000	3.8%	2,268,000		
	総 費 用 (A + B)		円	5,750,000	5,749,010	5,875,000	5,958,810	3.6%	6,341,000		
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	①公共施設や各地区花壇用の花苗・緑化木の配布や各地区の頭取・グリーンキーパーのボランティア活動への助成 ②市民への緑化木の無償配布 ③花とみどりの少年団活動への助成										
	各地区への花苗等は単価が高く、また年々本店より配布事業への補助金も減額傾向にあるので、コストを抑えるのに単価の低い「プラグ苗」の配布へ比重を大きくしていきたい。										
6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容						
	妥 当 性		C	自治体関与の妥当性	☐ 1 妥当である	☒ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない				
				目的の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない				
				対象の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない				
	有 効 性		B	目標達成度	☐ 1 高い	☒ 2 目標どおり	☐ 3 低い・未実施				
				類似事業の有無	☒ 1 なし	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 あり				
				上位施策への貢献度	☐ 1 高い	☒ 2 普通	☐ 3 低い				
	効 率 性		B	コスト効率	☐ 1 高い	☒ 2 普通	☐ 3 低い				
				実施主体の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない				
				負担割合の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない				
	1次評価 (課長総括)			B	補助率及び上限額について見直す余地あり	2次評価	不要				
	後の評価 (課題及び方針) 結果	本市の緑化を推進するための活動を奨励し助成していく事業であり、引き続き実施していかなければならない。				評価結果					

内部管理		平成 25年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事務事業名	宮津霊園管理料賦課徴収事務					担当	課 名	都市計画課		
	予算事業名	なし					係	係 名	計画公園係		
	事業区分	自治事務					部署	電 話 番 号	0765-23-1030		
	事業期間	開始年度	昭和33年度		終了年度	当面継続	予 算 科 目	会 計 款 項 目	予算なし		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち					市民協働の状況	協働になじまない		
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実								
施策名		15 良好な都市の形成									
	基本事業名	15-3 美しい都市景観づくりの推進									
2 事業概要	事業概要	宮津霊園の管理料の賦課・徴収。墓地使用权の承継に関する事務。									
	対 象	宮津霊園使用者									
	手 段 (活動指標)	管理料の賦課及び徴収、墓地使用权の承継事務、使用者不明墓地の調査									
	意 図 (成果指標)	墓地使用者を適正に把握し、管理料の納付を通知し、納付してもらう。									
3 指標	活動指標 成果指標	指 標 名	単位	24年度		25年度			26年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画		
		① 納付書発送数	件	2,467	2,427	2,450	2,449	100.0%	2,450		
		② 督促数	件	170	150	150	165	110.0%	150		
		③ 滞納徴収業務日数	日	30	30	30	30	100.0%	30		
		① 管理料の収納率	%	99.70	99.00	99.00	99.20	100.2%	99.00		
		② 納付書送達率	%	100	100	100	100	100.0%	100		
		③									
4 コスト情報	支出内訳	区 分	単位	24年度		25年度			26年度		
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額		
		①需用費	円								
		②委託料	円								
		③工事請負費	円								
		④負担金補助及び交付金	円								
	財源内訳	⑤その他	円								
		支出合計 (A)	円	0	0	0	0		0		
		①国庫支出金	円								
		②県支出金	円								
		③地方債	円								
		④その他 (使用料、雑入等)	円								
	人件費	⑤一般財源	円								
		収入合計	円	0	0	0	0		0		
		①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3		
		②年間所要時間	時間	600	600	800	800	33.3%	800		
	総 費 用 (A + B)	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2,520,000	2,520,000	3,360,000	3,360,000	33.3%	3,360,000		
			円	2,520,000	2,520,000	3,360,000	3,360,000	33.3%	3,360,000		
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	管理料の賦課及び徴収、墓地使用权の承継事務、使用者不明墓地の調査										
6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容						
	妥 当 性		A	自治体関与の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない				
				目的の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない				
				対象の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない				
	有 効 性		A	目標達成度	☒ 1 高い	☐ 2 目標どおり	☐ 3 低い・未実施				
				類似事業の有無	☒ 1 なし	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 あり				
				上位施策への貢献度	☒ 1 高い	☐ 2 普通	☐ 3 低い				
	効 率 性		B	コスト効率	☐ 1 高い	☒ 2 普通	☐ 3 低い				
				実施主体の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない				
				負担割合の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない				
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当			2次評価	不要			
	後の評価 (課題及び方針)	管理費徴収業務は、霊園使用者の承継や不明者を確定させることで適切な管理ができる。 また、使用者から適正な利用料を徴収することで、公正・公平を保つことができる重要な事務事業である。				評価結果					

施設管理		平成 25年度実績に関する事務事業評価表											
1 基本項目	事 務 事 業 名	宮津霊園維持管理事業				担当 部署	課 名	都市計画課					
	予 算 事 業 名	霊園維持管理費					係 名	計画公園係					
	事 業 区 分	自治事務					電 話 番 号	0765-23-1030					
	事 業 期 間	開始年度	平成24年度		終了年度	当面継続		予 算 科 目	会 計	一般会計			
	目 標 名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち					款	土木費					
	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	都市計画費					
	施 策 名	15 良好な都市の形成					目	霊園管理費					
総合計画	基本事業名	15-3 美しい都市景観づくりの推進					市民協働の状況		協働になじまない				
2 事業概要	事 業 概 要	宮津霊園の園路や樹木などの共有部分の施設整備及び維持管理。 霊園整備（樹木剪定や雪囲い、園路等の施設修繕）、除草・トイレの清掃委託、返還された区画の再募集、無縁塔の供養。											
	対 象	宮津霊園											
	手 段 （活動指標）	1. 霊園使用者の管理（返還・募集・墓地工事着工届・完成届の確認） 2. 共有部分の維持管理（除草、清掃、修繕など） 3. 無縁塔の管理											
	意 図 （成果指標）	霊園が荒廃しないように、霊園使用者の管理を行う。 また、園路等の施設を修繕することで、清潔で安全な環境を維持する。											
3 指標	指 標 名		単位	24年度		25年度			26年度				
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画				
	活動指標 成果指標	① 墓地工事（着工届・完成届）確認件数	件	20	20	20	32	160.0%	20				
		② 除草の実施回数	回	1	1	1	1	100.0%	1				
		③ 苦情・要望件数	件	20	20	20	13	65.0%	20				
		① 苦情・要望処理件数	件	20	18	20	13	65.0%	20				
		② 苦情・要望処理率	%	100.00	90.00	100.00	100.00	100.0%	100.00				
		③											
4 コスト情報	区 分		単位	24年度		25年度			26年度				
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額				
	支出内訳	①需用費	円	2,239,000	2,056,000	2,239,000	2,141,610	4.2%	2,224,000				
		②委託料	円	2,105,000	2,079,000	5,039,000	2,424,331	16.6%	2,728,000				
		③工事請負費	円	400,000	294,000			-100.0%					
		④負担金補助及び交付金	円										
		⑤その他	円	287,000	273,000	287,000	278,210	1.9%	392,000				
	支出合計（A）		円	5,031,000	4,702,000	7,565,000	4,844,151	3.0%	5,344,000				
	財源内訳	①国庫支出金	円										
		②県支出金	円										
		③地方債	円										
		④その他（使用料、雑入等）	円	4,821,000	5,649,000	4,965,000	4,844,151	-14.2%	5,344,000				
		⑤一般財源	円	210,000	-947,000	2,600,000	0	-100.0%					
	収入合計		円	5,031,000	4,702,000	7,565,000	4,844,151	3.0%	5,344,000				
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4				
		②年間所要時間	時間	1,380	1,380	1,720	1,720	24.6%	1,720				
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	5,796,000	5,796,000	7,224,000	7,224,000	24.6%	7,224,000				
	総 費 用（A+B）		円	10,827,000	10,498,000	14,789,000	12,068,151	15.0%	12,568,000				
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容												
	1. 霊園使用者の管理（返還・募集・墓地工事着工届・完成届の確認） 2. 共有部分の維持管理（除草、清掃、修繕など） 3. 無縁塔の管理												
6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容								
	妥 当 性		A	自治体関与の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない						
				目的の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない						
				対象の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない						
	有 効 性		A	目標達成度	☒ 1 高い	☐ 2 目標どおり	☐ 3 低い・未実施						
				類似事業の有無	☒ 1 なし	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 あり						
				上位施策への貢献度	☒ 1 高い	☐ 2 普通	☐ 3 低い						
	効 率 性		A	コスト効率	☒ 1 高い	☐ 2 普通	☐ 3 低い						
				実施主体の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない						
				負担割合の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない						
	1次評価 （課長総括）		A	現行どおり管理運営を行うことが適当			2次評価	不要					
	（課題及び今後 の評価結果）	平成21年度に墓地管理料を引き上げて、使用者の応分の負担によって霊園維持管理費を賄っている。ただ、経過年数と共に園路等の施設が老朽化し、樹木も非常に大きく成長しているため、今後にも大規模な施設修繕や樹木剪定・伐採等の整理をしなければならない問題も抱えている。霊園管理は、維持管理費徴収や承継等事務が問題視されることから、市の直営管理で運営する方がよいと判断する。				評価結果							

ソフト事業		平成 25年度実績に関する事務事業評価表											
1 基本項目	事務事業名	公園里親制度事業					担当部署	課名	都市計画課				
	予算事業名	公園里親制度事業						係名	計画公園係				
	事業区分	自治事務						電話番号	0765-23-1030				
	事業期間	開始年度	平成19年度	終了年度	当面継続			予会計	一般会計				
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち					算科目	款	土木費			
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実						項	都市計画費			
		施策名	15 良好な都市の形成						目	都市公園管理費			
	基本事業名	15-3 美しい都市景観づくりの推進					市民協働の状況		協働している				
2 事業概要	事業概要	市が管理する都市公園、その他の公園及び緑地等の美化及び保全のため、市民が公園等の里親となってボランティア活動を実施することにより、環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、市民、事業者及び市が一体となって美しく住みよいまちづくりを推進することを目的とする。											
	対象	都市公園、開発広場等											
	手段 (活動指標)	里親として登録された団体や市民へ、公園を管理するために必要となる消耗品等の支給を行なう。 新規に公園里親制度に加入していただくように啓蒙活動を行なう。											
	意図 (成果指標)	市が管理する都市公園等に親しみを持ってもらい、環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、市民等と市が一体となって美しく住みよいまちづくりを推進する。											
3 指標	指標名		単位	24年度		25年度			26年度				
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画				
	活動指標	① 里親がいる公園	園	22	22	23	23	100.0%	23				
		②											
		③											
	成果指標	① 都市公園及び開発広場の里親率	%	23.70	23.70	24.50	24.50	100.0%	24.50				
		②											
③													
4 コスト情報	区 分		単位	24年度		25年度			26年度				
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額				
	支出内訳	①需用費	円	75,000	70,000	75,000	41,937	-40.1%	105,000				
		②委託料	円										
		③工事請負費	円										
		④負担金補助及び交付金	円										
		⑤その他	円	97,000	32,000	97,000	560	-98.3%	75,000				
	支出合計 (A)		円	172,000	102,000	172,000	42,497	-58.3%	180,000				
	財源内訳	①国庫支出金	円										
		②県支出金	円										
		③地方債	円										
		④その他 (使用料、雑入等)	円										
		⑤一般財源	円	172,000	102,000	172,000	42,497	-58.3%	180,000				
	収入合計		円	172,000	102,000	172,000	42,497	-58.3%	180,000				
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4				
		②年間所要時間	時間	300	300	300	300	0.0%	300				
		③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	0.0%	1,260,000				
	総 費 用 (A + B)		円	1,432,000	1,362,000	1,432,000	1,302,497	-4.4%	1,440,000				
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容												
	里親として登録された団体や市民へ、公園を管理するために必要となる消耗品等の支給を行なった。 新規に公園里親制度に加入していただくように啓蒙活動を行なった。												
6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容								
	妥 当 性		A	自治体関与の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない						
				目的の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない						
				対象の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない						
	有 効 性		A	目標達成度	☒ 1 高い	☐ 2 目標どおり	☐ 3 低い・未実施						
				類似事業の有無	☒ 1 なし	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 あり						
				上位施策への貢献度	☒ 1 高い	☐ 2 普通	☐ 3 低い						
	効 率 性		A	コスト効率	☒ 1 高い	☐ 2 普通	☐ 3 低い						
				実施主体の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない						
				負担割合の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない						
1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要								
後の評価方針 (課題及び今後)	公園の維持管理のための道具購入等、必要最低限の費用で地元組織や個人による公園管理を実施している。今後、それぞれの地域にある公園がどうなれば地元で愛着のあるものになるかを検討し、地元と協働しながら管理を図らなければならない。当面は、市広報やホームページで公園里親制度を掲載し、制度を希望される地域の住民との協議を行なう。				評価結果								

施設管理		平成 25年度実績に関する事務事業評価表							
1 基本項目	事 務 事 業 名	駅前広場等維持管理事業				担 当	課 名	都市計画課	
	予 算 事 業 名	駅前広場等維持管理事業				係	名	計画公園係	
	事 業 区 分	自治事務				電 話 番 号	0765-23-1030		
	事 業 期 間	開始年度	昭和47年度	終了年度	当面継続	予 会 計	一般会計		
	目 標 名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				款	土木費		
	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	都市計画費		
	施 策 名	15 良好な都市の形成				目	駅前広場管理費		
総合計画	基本事業名	15-3 美しい都市景観づくりの推進				市民協働の状況	協働可能だが予定なし		
2 事業概要	事 業 概 要	魚津駅前・駅西広場等を清潔で安全で良好な環境が維持されるよう適正な維持管理業務を行う。							
	対 象	魚津駅前広場及び魚津駅周辺公共施設（駅前・駅西広場、地下道、水飲み場など）							
	手 段 （活動指標）	清掃、エレベーター点検、蛍光灯の交換、樹木の剪定							
	意 図 （成果指標）	市の玄関口である魚津駅周辺が、清潔で安全な環境として良好に保たれている。							
3 指標	指 標 名	単位	24年度		25年度			26年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
	活動指標	① エレベーター点検回数	回	12	12	12	12	100.0%	12
		② タイル清掃回数	回	2	2	2	1	50.0%	2
		③ うまい水清掃回数	回	24	24	24	24	100.0%	24
	成果指標	① 修繕工事件数	件	5	4	5	2	40.0%	5
		② 修繕処理率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.0%	100.00
		③							
4 コスト情報	区 分	単位	24年度		25年度			26年度	
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
	支出内訳	①需用費	円	8,238,000	7,525,000	6,287,000	4,681,969	-37.8%	6,526,000
		②委託料	円	3,063,000	3,108,000	3,177,000	3,027,955	-2.6%	3,366,000
		③工事請負費	円			3,745,000	0		
		④負担金補助及び交付金	円						
		⑤その他	円	108,000	93,000	108,000	92,416	-0.6%	108,000
	支出合計（A）		円	11,409,000	10,726,000	13,317,000	7,802,340	-27.3%	10,000,000
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	11,409,000	10,726,000	13,317,000	7,802,340	-27.3%	10,000,000
	収入合計		円	11,409,000	10,726,000	13,317,000	7,802,340	-27.3%	10,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3	
	②年間所要時間	時間	700	700	800	800	14.3%	800	
	③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	2,940,000	2,940,000	3,360,000	3,360,000	14.3%	3,360,000	
総 費 用（A + B）		円	14,349,000	13,666,000	16,677,000	11,162,340	-18.3%	13,360,000	
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容								
	清掃、エレベーター点検、蛍光灯の交換、樹木の剪定を実施								
6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容				
	妥 当 性		A	自治体関与の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない		
				目的の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない		
				対象の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない		
	有 効 性		A	目標達成度	☒ 1 高い	☐ 2 目標どおり	☐ 3 低い・未実施		
				類似事業の有無	☒ 1 なし	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 あり		
				上位施策への貢献度	☒ 1 高い	☐ 2 普通	☐ 3 低い		
	効 率 性		B	コスト効率	☐ 1 高い	☒ 2 普通	☐ 3 低い		
				実施主体の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない		
				負担割合の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない		
1次評価 （課長総括）		A	現行どおり管理運営を行うことが適当		2次評価	不要			
後の評価 （課題及び今後の方針）	JR魚津駅は市の玄関口であり、適切な維持管理は不可欠である。 駅前の融雪装置は水道水を使用しており、積雪量に応じて費用が高くなるのは仕方がない現状である。				評価結果				

ソフト事業		平成 25年度実績に関する事務事業評価表										
1 基本項目	事務事業名	屋外広告物許可及び啓発事業					担当	課 名		都市計画課		
	予算事業名	2. 住宅一般管理費					係	係 名		建築住宅係		
	事業区分	法定受託事務					電 話 番 号	0765-23-1031				
	事業期間	開始年度	昭和27年度		終了年度	当面継続	予 算 科 目	会 計		一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち					款	土木費			
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	住宅費			
		施策名	15 良好な都市の形成					目	住宅管理費			
基本事業名		15-3 美しい都市景観づくりの推進					市民協働の状況		協働可能だが予定なし			
2 事業概要	事業概要	屋外広告物法（昭和24年法律第189号）の規定に基づき、①良好な景観を形成し、又は風致を維持すること、②公衆に対する危害を防止することの2つの目的から屋外広告物の規制を行う。										
	対象	・ 屋外広告物（広告物又は広告物を掲出する物件）を設置しようとする人 ・ 市内の事業所 ・ 市民										
	手段 （活動指標）	・ 広報やホームページに掲載し、市内全世帯への周知を図る。 ・ 更新の案内を送付。 ・ 違反広告物の確認及び除去依頼。										
	意 図 （成果指標）	・ 屋外広告物の設置を適法に行わせる。 ・ 市民の屋外広告物への理解を深め、景観や街づくりに対する意識を高める。 ・ 違反広告物や違反広告業者を減少させる。										
3 指標	指 標 名		単位	24年度		25年度			26年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画			
	活動指標	① 審査件数	件	55	55	45	61	135.6%	45			
	成果指標	② 更新案内送付件数	件	27	40	37	54	145.9%	37			
		③ 違反パトロール件数	回	2	2	2	2	100.0%	2			
		① 許可件数	件	55	55	45	61	135.6%	45			
		② 違反広告件数	件	45	45	44	44	100.0%	43			
	③											
4 コスト情報	区 分		単位	24年度		25年度			26年度			
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額			
	支出内訳	①需用費	円									
		②委託料	円									
		③工事請負費	円									
		④負担金補助及び交付金	円									
		⑤その他	円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000			
	支出合計（A）		円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000			
	財源内訳	①国庫支出金	円									
		②県支出金	円									
		③地方債	円									
		④その他（使用料、雑入等）	円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000			
		⑤一般財源	円									
	収入合計		円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000			
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2			
		②年間所要時間	時間	320	320	500	500	56.3%	500			
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	1,344,000	1,344,000	2,100,000	2,100,000	56.3%	2,100,000			
	総 費 用（A+B）		円	1,359,000	1,359,000	2,115,000	2,115,000	55.6%	2,115,000			
5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容											
	平成25年9月の「屋外広告物適正化旬間」に国道8号線をパトロールしたり、違反広告物の撤去を依頼したり、広報9月号で広告物の規制について掲載した。また2月から3月にかけて正面ロビーに「景観広告とやま賞」及び「うるおい環境とやま賞」のパネルを展示し市民の景観についての意識を高めた。また新幹線が来年から通ることから周りの広告物に対する規制について今まで以上に取り組みを富山県と一緒に考えている。											
6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容							
	妥 当 性		A	自治体関与の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない					
				目的の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない					
				対象の妥当性	☒ 1 妥当である	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 妥当でない					
	有 効 性		C	目標達成度	☐ 1 高い	☐ 2 目標どおり	☒ 3 低い・未実施					
				類似事業の有無	☒ 1 なし	☐ 2 検討の余地あり	☐ 3 あり					
				上位施策への貢献度	☐ 1 高い	☐ 2 普通	☒ 3 低い					
	効 率 性		B	コスト効率	☐ 1 高い	☒ 2 普通	☐ 3 低い					
				実施主体の適正化	☒ 1 適正である	☐ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない					
				負担割合の適正化	☐ 1 適正である	☒ 2 改善の余地あり	☐ 3 適正でない					
1次評価 （課長総括）		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要							
（課題及び今後 の評価結果 の方針）	県から権限安譲されている事務であり、現状維持が安当。 平成22年7月に県の屋外広告物条例が改正され基準も従来よりも厳しくなっており、関係業者等への更なる周知及び指導を行なうことや、担当職員も知識の取得のために研修をすることが必要である。 また、従来から違反している看板等を設置した施工者に撤去してもらう行動が必要				評価結果							